

南小学校だより

～明日も行きたくなる学校～

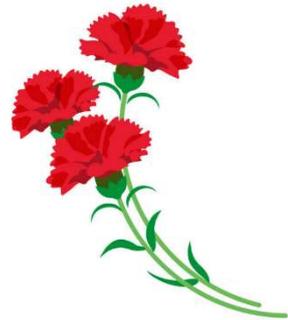


波佐見町立南小学校
学校だより No. 3
令和6年5月8日(水)
文責: 校長 馬場 利浩

自分を贈る

谷川俊太郎

母の日に 花を贈るのを忘れてもいい
母の日には あなた自身を贈ればいい
あなたが誕生した日 母はあなたに世界を贈ってくれた
この世界のどこかでずっと 母はあなたとともに生きている
たとえいま母と不和でも 卑下することはない
あなたはあなたを生きている
母の日には花も言葉もなくていい
これまでもこれからあなた自身が
かけがえのない贈り物なのだから



=母の日によせて=

私が高校生の頃の話です。農家だった私の両親は稲作の他に栽培から加工・販売までの製茶業も営んでいました。特に新茶から三番茶まで続く4月から8月までの時期は多忙を極めました。お茶の葉は生ものですから、早朝に摘み取った葉はその日のうちに加工し製品にしなければなりません。川を挟んで家の目の前にある製茶工場には、朝5時から深夜2時頃まで働き続ける両親の姿がありました。

当時、私は高校の朝補習に間に合うために5時半起床の毎日でした。眠たい目を擦りながら起きて台所に行くと、テーブルの上には母が作った弁当が必ず置いてありました。深夜2時まで働いていた母が、疲れたはずなのに、何も言わず黙って作ってくれた弁当を見ると、多少体調不良でも「今日は学校休みたい」とは言い出せませんでした。結局、高校時代の3年間、私が1日も学校を休まなかったのは、弁当を作る「母の姿」によるものだったと思います。

戦前生まれで中学までしか通うことのできなかった母ですので、私が子どもの頃、絵本を読んでもくれたことや勉強を教えてくれたことは、ただの一度もありませんでした。だからこそ、その代わりに弁当という自分ができることに、我が子の成長への願いを込めていたのだと感じています。

我が子のために、自分ができることをただひたすらに取り組む。私が教師を目指したのは、母のそんな姿に影響を受けたからなのかもしれません。ならば、この教師という世界もまた、母が贈ってくれたものなのだと、今、改めてそう考えています。母の日を前に……。

=地区児童会=

4月16日(火)地区児童会を行いました。高学年が中心となって進行し、集団登校の新班長や1年生の自己紹介、朝の集合場所や時刻の確認などを行いました。



子どもたちの休日や放課後の生活が多様化し、皆で集まって遊ぶ機会が減少する今の時代だからこそ、地域の子ども同士のつながりは重要です。集団登校をとおして、つながりを一層深めてほしいと願っています。

=学校探検=

4月25日(木)1年生と2年生が学校探検を行いました。理科室や保健室や体育館など、学校の隅々まで探検しました。もちろん校長室にもかわいい探検隊がやってきました。2年生が1年生を優しく案内してる姿が微笑ましかったです。



=運動会へ向けて=

5月7日(火)運動会へ向けての全体練習を行いました。全体練習の前に私から子どもたちへ話をしました。伝えた話は「美しい運動会にしよう」です。一つ目は、集合・整列・行進など集団行動の美しさ。



二つ目は係活動や応援など、人のためを思う心の美しさ。この二つが表れる運動会にしましょう、と話しました。運動会当日、この二つが具現化されることを目指し、練習を進めていきます。

また、応援団に関して小さな改革を行いました。応援合戦は運動会の中心競技の一つです。保護者や地域の皆様もきっと楽しみにされていることと思います。さて、集団の前に立ち応援を指揮する応援リーダーは、これまで5・6年生から選出されていました。それを、今年度から1年生から6年生までの全ての学年からの選出に変更しています。これによって、応援リーダーに挑戦するチャンスが6回に増えると共に、低学年のうちから集団を率いる機会を得ることができるからです。



なにより、1年生や2年生が集団を引っ張っている姿は見ていて微笑ましくも痛快です。当日は、そんな1・2年生の姿もどうぞお楽しみに。

※いじめや不登校、その他お子様の教育に関わる相談は下の番号にご相談ください。

【波佐見町教育相談電話】0956-85-3899

※小学校には、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーが来校します。子育てに関するご相談などお気軽にご連絡ください。

【窓口：南小学校】0956-85-2414